

# おんじゅく

The Onjuku Koho

72-6

昭和47年

第109号

千葉県御宿町役場発行



ことしの豊漁と海水浴客の安全をねがって海女みこしが白い砂浜をねり歩く（海開きの日＝中央海水浴場にて）

# 自然保護は 官民一体で

## 保養地開発の必須条件



いま観光地御宿に新しい開発の息吹きを感じられる。

開発のおくれている当地方に、県南総開発局がテコ入れをはじめたのである。ダム、ゴルフ場、保養団地等。これからの観光の進展にかかせない要素をもつ、これらの開発計画を皆さまとともに考えながら望ましい開発のあり方をさぐってみましょう。

そこで、きょうは保養団地について考えてみることにした。

いま日本人のレジャー活動のベストスリーとはいえば、競馬（競輪）、ボウリング（マージャン）パチンコ——だといえそうである。いずれをとつてもギャンブルをともなつた遊び——つまり射幸娯楽といえそうである。もつとくだけて、いやもつと庶民的にいうと、ごろね、飲酒、パチンコとなる。こうなるといまのレジャーは、ねる、見る、するということになる。それでは、いったいレジャーのこうした需要に変化を与えた要素はなにかをさぐってみることが賢明な考え方といえる。それにはいろいろな要因が考えられるが、なんといつても大きなことは、所得水準、（それにとまなう消費水準の向上）。余暇の時間の増大、一連

の交通機関の進歩による機動性の拡大などがあげられよう。

余暇の時間を例にとつても、昭和六十年代の労働時間は余暇にあてられる時間と同じになるだろうといわれている。

同じく機動性という面を考えてみると、交通体系の充実、つまりハイウェイ、新幹線の整備、長距離フェリーの就航、ジャンボ、超音速飛行機の開発と日本はもとより世界がせまくなつてしまつていゝ。このような状況と、経済の高度な発展による、人より物という考え方が、公害という新しい言葉を生み、新しい文明病をはびこらせ、人間社会と自然とを離反させている。

人は、このような現実からの流れ、なにを求めていきたらよいのか。日本中の人たちが、（とくに都会の人たちは）考えはじめてきている。

こんな時に、当町に大規模な保養団地がつけられる計画が進められている。しかも自然を生かした、自然のなかに保養地をつくろうというものである。

いままでも各地で行なわれてきた別荘団地、別荘地開発は、とかく購入者が投資の対象とした例が多

かつた。そのため別荘の利用度が極端に低く、ときとして、民間業者の無計画さが乱開発し、大きな問題をあとに残した例が少なくない。

こうしたことから、地方団体などの行なう開発には、自然の保護を配慮しながら、有効な民間資本を活用することがたいせつである。いま、たまに目につく宅地造成（民間業者による）のような小区画なものなるべく規制し、乱開発を極力さげなければいけない。

### 別荘は生活の本拠地

こころ、二年レジャーの変化に対応し、別荘を新しい観点でとらえる傾向がみえてきた。つまり「滞在型レジャー」といわれるものがそれである。

別荘をもち、そこを拠点とし、活用しようというもの。そして、その活用のしかたが、ひと昔前のそれとちがつて、きわめて動的になつてきたのが特長である。

別荘にきて、スポーツをし、園芸を楽しみ、コミュニケーションが行なわれる。つまり、する——ということ、しかも自らするといふことがふえている。そのために

## ● 統合教委への期待 ●

# 望まれる人の和

## 協業、分業で事務能率あげる

はこうした動きに合った施設がつけられることがかせない条件だともいえる。

そして、昔の季節的利用から、年間利用へとという考え方に変わってきている。そして別荘のあり方が、生活の本拠地化しつつあることはきわめて興味深い。都会は仕

事の場合であり、別荘は生活を楽しむ本拠である。別荘をセカンドハウスといっていた時代は遠からず去ろうとしている。別荘こそファーストハウスなのである。

日本経済の発展を考えると、都会の都市化はますます進み、人間を住みにくくすることはたしかである。

そんな時、人は「自然に帰ろう」と民族の自然への大移動がはじまるのである。そして保養地がますますさかんになり、町が豊かになるであろうことは疑う余地がない。ただし、

これからの開発は、大規模であり、官民一体となり、そして自然をまもることがかせない条件である。



話は五年前にさかのぼります。いまの統合教育委員会が産声をあげる発端となったのは、県でだした教育委員会統合に関する資料がきっかけと記憶しています。その

長以下事務職員一、二名という構成で、広域な教育事務を処理している教育委員会が多く、分業、協業の行なわれている大規模教育委員会に比して劣るところがかなり

資料の巻頭にこうしてあります。

市町村に教育委員会が設置されてから、十五年を経過しますが、町村合併促進法がしかれ、教育委員会数は、それに比例してきへつてしましました。

小規模の町村では、教育

あります。このような問題点を解決したいという町村の熱意が除々にめばえ、あちこちで統合に対する真剣な研究機関が生まれました。

### スタッフの充実

県下でいちばん過疎地帯といわれる当夷隅郡内においても、とうぜん人口三万から八千までの教育委員会の中にはいるが、教育長を含め二、三人というメンバーがほとんどでした。なかでも指導主事がおかれてないところが多く、このような状況のもとで、教育委員会の事務処理はどうなっているのかさぐってみると教委統合によ



る効果を見る目安になるかと思えます。

最近市町村の事務処理のひらきが増えはだしく、人口財政規模によって事務処理の能率が高い傾向がみられます。とくに学校教育と社会教育などは、はっきりした差がでています。

教委統合の必要性はまだありません。というのは、最近市町村の事務が複雑化、専門化されてきました。予算やスタッフの不足が、いっそう事務処理の低下をきたし、教育行政の立おくれが助長されています。

それでは、いったい統合による効果はどんな点を期待できるのでしょうか。それは、まず事務局の組織が強化され、分業協業が適切に行なわれます。教育経費の効率的運用、地域内格差の是正。指導、研修行政が充実、強化されます。

さらに人事行政が円滑に行なわれます。といったぐあい。実際これだけの効果をあげることができるかどうかは一に人の和、チームワークのできいかにかかっているといえそうです。統合教委のこれから期待しましょう。

# 人生の目標は しあわせな家庭づくり

## 青年男女 2,000人の意見



なかったとき  
あるいは、「仕  
事や勉強がう  
まくいかなか  
ったとき」に  
空虚感を感じ  
た人が多数。  
つまり、多数  
の青年は、友  
人関係や仕事  
勉強の点で充  
実感や、空虚  
感を感じたり  
しています。  
全体として  
は、充実感、  
空虚感を「同  
じくらい感じ  
る」人と、「むなしさを感じるこ  
とが多い」という人がいずれも四  
十パーセント弱です。

### ▽ 社会に対する意識

① 現在の日本の社会に対して  
持っているイメージは「混乱」と  
いうのが最も多い。これに続いて  
「冷たい」「貧しい」「平和」「自  
由」「発展」「豊富」「対立」の  
順となっており、全般にプラスと  
マイナスの両面のイメージをいだ  
いています。

② 社会をいくつかの側面に分  
けてたずねた結果では、「国民生  
活が脅かされている」「国民の声  
が政治に反映されていない」等、  
否定的な見方が圧倒的に多い。し  
かし、社会全体に対する見方では  
「まあ良い社会」や「良い社会」  
という肯定的な見方をする人(四  
十三パーセント)がふえ、否定的  
な見方をする人(五十三パーセン  
ト)との率の差は十パーセント程  
度であります。

③ 社会が良くなるためには、  
「庶民の立場で政治が行なわれる」  
「ひとりひとりがしっかりと考  
え方や生き方をする」ことが必要  
と考えている人が多いようです。  
④ さらに、社会を良くするた  
めに自分はどうなことをしたいか  
との質問に対しては、「仕事を通  
して社会に貢献」「各種の運動・  
活動に参加」「特にしたいことは  
ない」に三分されます。そして、  
なにかをしたという人でも、例  
えば「結婚して家庭を持つたら、  
気持が変わるかもしれない」とい  
った具合に何らかの機会にやめる  
かもしれないという人が半数を占  
めています。

⑤ 日本の社会の将来に対して  
は、「ある程度良くなると思う」  
という人が過半数を占めており、  
どちらかといえば楽観的な見通し  
を持っている人が多いようです。  
⑥ 「支持する政党はない」と  
いう人が過半数で、脱政党化の現  
象が顕著に現われています。また、  
革新政権を志向する人(四十七パ  
ーセント)と保守政権を志向する  
人(三十八パーセント)との差は  
九パーセントとそれほど大きくあ  
りません。  
⑦ おとなの人たちから学ばた  
い点としては「人生の経験」「人  
間味」「忍耐力」が上位を占めて  
おり、逆に、おとなの人たちの良

次代をになっていく青年たちが、  
現在の複雑な社会状況、体制のな  
かで、なにを考え、どのように行  
動しようとしているだろうか。

NHKでは、さきに京浜地区に  
住む青年男女二千人(十八歳〜二  
十二歳)を対象に、かれらの意識  
と行動に関する世論調査をしまし  
た調査方法は個人面接法によりま  
したが、調査結果を要約してみま  
すと――。

### ▽ 日常生活における意識と行動

① 現在、多くの青年は、「自  
分に関すること」や「職場、学校  
に関すること」に大きな関心をも  
っています。  
② 本人にとってたいせつなも  
のは、「平和」「友人」「自由  
「いのち」「親」などです。  
③ 多くの青年は、同じ世代の  
若い人を「自由」とか「現実的」  
とか「無気力」などとみている。  
④ 「友人と気心が通じたとき」  
あるいは、「仕事や勉強がうまく  
いったとき」に充実を感じた人が  
多く、逆に「友と気心が通じ合わ

る」人と、「むなしさを感じるこ  
とが多い」という人がいずれも四  
十パーセント弱です。  
⑤ 現在の情熱の対象としては  
「趣味・娯楽」「友だちとの交際」  
が多く、「仕事や商売」「学業や  
研究」がこれに続いています。  
⑥ しかし、人生の目標として  
は、「しあわせな家庭を築くこと  
が最も多く、ついで「創造的な仕  
事をする」「独立した事業を  
経営すること」などとなっていま  
す。

くない点としては、「経験や考えを押しつける」「考え方が古い」「権力が弱い」「打算的である」が多くあげられています。

### ▽ 人間関係

① 個人的なことをなんでも打ち明けて話ができる人は、「昔の学校時代の友だち」「親」「兄弟姉妹」に多い。しかし、社会に対する考え方や行動が一致している人となると、「昔の学校時代の友だち」という人の多い点は変わらないが、「親」「兄弟姉妹」をあ

げる人は少ない。

② 話を通じ合う年齢は、「二十歳ぐらゐまで」から「三十歳ぐらゐまで」と感じている人が合せて六十一パーセントです。

③ 同じ世代の中では、「コッコツと地味に努力している人」や「仕事や勉強にうちこんでいる人」に共感を覚える人が多い。

④ 八十八パーセントの人に親友があり、親友の数は二〜三人という人が半数ちかくを占めています。

恋人のいる人は、全体の三十

三パーセントで、恋人のいない人では、六十三パーセントの人が「恋人がほしい」と思っています。

サークルにはいつている人は、全体の四十パーセントで、「趣味娯楽、レクリエーション」や「スポーツ」のサークルにはいつている人が多いようです。

ところで、当町の同年代のみなさんはいかがでしょうか。あなたの考えや行動とくらべてみてはいかがでしょう。

二千九百円となります。また初診料は現在の三百円が五百円となります。慢性病の患者指導料二百六十円が新設され、標準入院費用一日一千三百八十円が、一千九百二十円にアップされます。

### ◇どのくらい医療費はふえるか

それではどのくらい医療費はふえるでしょうか。カゼと腹痛について検討するとつぎのようになります。国民健康保険の加入者は料金の三割を現金で支払います。

#### 1 カゼをひいた場合の例

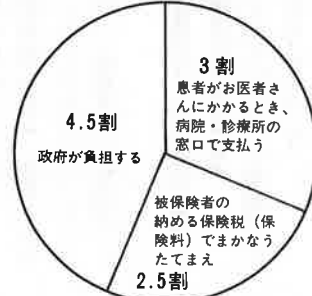
急性へんとう炎を伴ったカゼで開業医に三日間通院。初診料と再診料二回、咽頭処置三回、抗生物質四日分、注射一本、下熱鎮痛剤二分で、今までの一千九百七十円から二千九百円と二四・八％、二百八十三円のアップ。今まで五百七十二円支払えばよかったものが六百五十七円にふえます。

#### 2 腹痛の場合の例

急性大腸炎で往診をうけ、翌日通院。往診料(二キロ以内)が二百九十円から三百七十円に、初診料が三百円から五百円に上がるので、今までの一千九百七十二円が二

千九百円となり負担額は五百七十三円から六百二十七円にふえます。

医療費は下のような割合で負担します



### ◇医療費がふえると

医療費がどんどんふえると、どういうことになるでしょう。患者が窓口で支払う額(医療費の三割)ももちろんふえますし、政府負担分(四・五割)もふえます。

しかし、それはそれなりに処理されるとして、問題は保険税でまかなう残り二・五割の分です。医療費がふえると当然のことながら保険税を値上げしなければならなくなります。

医療費は放っておいても毎年毎年ふえています。これを自然増といえます。そこへこんどのような値上げがあると、医療費のふえる割合は急カーブで上昇することになります。



## 医療費値上げと国保

上がりました。値上げ幅は一三・七％ですが、薬代の引き下げなどもあり、それを差し引くと、実質二・二％の値げとなります。

医療費が値上がりすると、わたくしたちは直接と間接と二重に影響をうけます。

国民健康保険の加入者(被保険者)は、お医者さんにかかるとき医療費の三割を病院、診療所の窓口で現金で支払うことになっていますが、これが二・二％アップされます。

これは直接的影響ですが、その

### ◇こんどの値上げ

こんどの値げはお医者さんの技術料評価に重点をおいた、ということになっていきます。

たとえば、手術料は全体として約二倍にふえています。盲腸手術料はまえの六千八百円から約一万

### ◇また上がった医療費

二月一日から、また医療費が





# 海開きにどっと

三千人

たこ上げや砂の芸術コンクール

恒例となった五月の海開きが、ことしは三日に行なわれました。海女さんみこしによる潮ふみ祭や砂の芸術コンクール、タコあげ大会など盛りだくさんな催しに参加する人、見物する人、その数およそ三千名のほりました。

## ◇第二回タコづくりコンクール

- 一位 宮原典男さん(千葉市)
  - 二位 大地才司さん(新町)
  - 三位 江沢久仁雄さん(千葉市)
  - 四位 瓜本禎藏さん(六軒町)
  - 五位 橋岡秀行さん(岩和田)
  - 〃 市東弘光さん(〃)
- 努力賞
- 行方邦男さん(浜)
  - 岩石利恵さん(新町)

## 特別賞

林 靖雄さん(印西町)

## 大物賞

宮原フライングクラブ(千葉市)

## ◇砂の芸術コンクール入賞者

- 一位 矢作一則君(岩和田)
- 二位 石川綾子さん(〃)
- 三位 渡辺一雄君(岩和田)
- 四位 青柳 勉君(〃)
- 五位 鈴木美紀子さん(〃)
- アイデア賞 殿岡武君(〃)



## 善行者表彰や 記念講演

ユーモアクラブ総会

ユーモアクラブの第十二回総会が五月

特別賞 岩和田小学校

④ 砂の芸術コンクール優勝作、矢作くんのライオン

⑤ パケツ・スコップなど小道具を使って作品を仕上げていきます

⑥ 厳肅な修葺をし、海の安全を祈ります

十三日御宿小学校体育館で開かれました。恒例の町民投票によるユーモア各賞は後記のとおりです。

ことしのユーモア総会は、特別な催しとして、千葉大教授清水馨八郎先生を招き、南総開発の在り方など興味ある講演をきくことができました。

### ◇ユーモア受賞者

浅野乙治さん(岩和田)

木村源治郎さん(岩和田)

鶴岡鶴治さん(久保)

井上璋道さん(上布施)

鈴木徳治さん(新町)

水上久枝さん(六軒町)

伊田さん(新町)

三上きよみさん(新町)

永石さん(須賀)

松井ふみさん(六軒町)のかたがたが選ばれました。この人たちの横顔は順次広報で紹介いたします。

① 善行者で表彰された人たち

② 特別講演をする清水教授



## 花のある生活を楽しまよう

いま全国的に自然をまもろうという運動がくりひろげられています。市ぐるみ、町ぐるみ緑をまもろう、花いっぱい運動を上げようという機運が高まりつつあります。当町においても、三年ほど前か

ら花いっぱい運動を提唱し、花を植えるよう啓蒙してきました。そこで、花を愛し、育ててこられた人たちに花いっぱい運動への提言をおねがいし、町ぐるみ花のある生活を楽しみたいものです。



## 花を作って15年

井上 茂さん



「花を作る気持は子どもを育てる気持と同じです。だから丹精します。」と開口一番、井上さんはこういって話してくれました。

「わたしの場合、職場が男の仕事（国鉄）で、しかも危険な仕事です。一日の仕事をおえて家庭へ帰って気持をいやすには花がいちばんです。」

井上さんは、植物愛好会の会員で花づくり十五年のベテランです。「町中を花でうめる、とくに表玄関の駅前通りはもつと工夫して花を植えてはどうでしょう。また公共の場所には各家庭から花をもちより植えたらよいでしょう。もちろん町の前向きな姿勢も必要ですが」話しにだんだん熱がはいってきました。

「各学校などで菊づくりをしたらよいと思います。子どもの情操

教育には絶好の教材になります。育ててゆく花の姿を見ていると、自分の分身のような気持になり、自分をたいせつにするようになりま。長い日数をかけて育てあげますから根気がいられます。したがって最後までやりとおす精神力が身につきます。生きものや公共のものをたいせつにしたりする気持がめばえてきます。このことはある学校で花づくりをした生徒の中か

ら、はつきりと効果がみとめられています。」

費用は安くあがり、自らの手で作り育てるとい喜びは花を手がけた人だけが味わう特権なのかもしれないとよくいわれます。「一人でも多くの方が花に親しみ花を愛し、日々の生活を楽しんでもらいたいものです。」

（植物愛好会々員）

## 浅間山にアジサイ咲く

二千五百本が開花



浅間山をアジサイの花でうずめようという計画で、昨年につづいてことしも二千五百本のアジサイが植えられました。苗の生育は順調で早くもきれいな花をもちました。

浅間神社の祭礼のころには、七つ子まいりの人たちに好評いだけるでしょう。

町では、これからもアジサイの数をふやし、新しい観光の名所にして力を入れております。



# 売り物の海をきれいに

## 読者からの手紙

この町に移って一年余りになりましたが、気づいたことを二、三もうしあげます。

一、海を売りものにして観光客を呼びあつめているにもかかわらず、海はよこれ、浜辺は古い材木の捨て場になっています。

二、観光客がきても楽しんでもらえるところがないこと。

三、毎月発行されている広報が一月おくれで私たちの手にとどくこと。その内容が役場で知らせることをもつとくわしく知らせてほしいこと。

四、隣組という古い習慣をなくしてもらいたいこと。隣組に入っていないということ、なにごとがあつても知らせをうけられないとは、なんとつきあいの悪い町だろう。それでいて隣近所の悪口を、いいあうなど、以前住んでいた町が余りにもこの町とちがうのでよい悪い所が目につくののだと思います。私はこの町に長い間すむことになりそうです。だから皆さまにもつと住みよい町、楽しい町、きれいな町にしてくださいたいと

思いペンをとりました。(一町民より)

御宿の町民となられて日の浅い方から以上のような投書がありましたので、広報の紙面をさいて町の考え方、姿勢をお知らせします。

まず第一点、海岸のよこれについて、このことはたしかにご指摘

のようによこれの目立つときもありません。しかし、よこれっばなしで手をこまねいているわけではありませぬ。毎年、観光シーズン前

はもとよりシーズン中もオフも観光関係者の努力できれいな海岸をまもっています。たまたま昨年から本年にかけて数回大きな風水害に見まわれ河川のはらんなど砂浜が汚されました。このような天災と戦いながら町民みんなの宝である海岸をまもうとういう気持が強いです。しかしながら、ごく一部の心ない人の行為……ゴミの不法投棄……で海岸がよこされていくことも確かです。町ではこのよ

と思います。

つぎに観光客によるこんでもらえるところ云々とありますが、文面だけではどう理解してよいかわかりませんが町の観光の究極は、高尚な保養地であり、自然をたいせつに残した観光開発が目標です。このような観心に立って、いま県南総開発庁を中心に開発計画がねられ、実行にうつされつつあります。

第三点の広報について、月おくれやお知らせをくわしくというこ

とですが、広報の原稿を締切ってから発行まで約二十数日、そのご

皆さまのお手もとえとどくの一日ないし、二日くらいかかりますその月のことはなるべくその月の号でお知らせしたいという考えから発行はおくられても記事内容は毎月どおりお知らせできます。広報の性格からいつてお知らせもたしかにだいじですが、企画物や解説物もかかせないたいせつなものです。企画を多くすれば、週刊紙なみに一月あるいは二月くらい早めにだせます。新聞やテレビのように速報性のない広報の弱味がそこにあると思います。また、お知らせの場合、急を要するものは、かいらんや有線放送を通してくわし

くお知らせいたします。いずれにしろだれにでも好かれ、読んでいただけるよう努力しますのでよろしくおねがいします。

最後に隣組について、人間生活が複雑多岐になりますと、人との接しよくが多くなり、情報の量もふえてまいります。そのため地域社会のコミュニケーションはますます重要となります。人間疎外の都会生活の味気なさにくらべ、田舎の人間味あふれた隣人愛はえがたい地方の特色だと思えます。

わずらわしいしきたりは、地域婦人会員の皆さんの努力で解消されつつあります。古いむだな慣習は打破し、部落民や隣組の融和をはかれる隣人愛はいまでも残したいものです。

おたがいに拒絶反応を起さず楽しい住みよい町にするために話し合いの場をもてることはしあわせなことだと思います。



文化国家ニッポンです。こんなことのないように……

# ●季節のしおり

戸外の緑が豊かになると、家の庭の雑草もいっせいに伸びてきました。あまり強く根を張らないうちにとっておかないとしまつにおえません。ひと雨降った翌日とか露じめりの残った朝のうちがとり

## 上半期の終り

一九七二年のことしも、もう半ばを過ぎようとしています。光陰は矢のごしなどと大げさなことは考えないにしても、過ぎ去ってしまったことを思い出すと、あれからもう半年もたったかなあと、改めて思い返すこともありましよう。

お正月、こたつに入って考えたこと、あたたかくなるまでにはなにかと仕上げようと計画したことなど。桜が散り、バラやシヤクヤ

## 六軒町地区に

### 子ども会ができる

子ども会の発足がおくれていた

六軒町区にようやく会が生まれま

した。  
五月二十八日、午後一時から区青年館で発会の式が区役員や関係

## 旧伊藤庸二博士の追憶

### 欧米仕込みの紳士 父親の教育に感化

伊藤庸二博士が、この世を去られてから十四年の歳月が流れました。私は博士を尊敬する一人として、博士に接しえて光榮に浴したことから、在りし日の伊藤さんのお元氣な姿を、いまあらたに思ううかべて追憶の情やるかたなく、その人柄にふれてみたいと思いま

す。  
海軍大佐として、旧日本海軍電波兵器研究の権威者として、その

者を集めて行なわれました。先ごろできた子どもの遊び場とともに、子どもたちのための世界

①

重責の地位にあつた伊藤さんも復員されて郷土を愛し、御宿の文化高揚のため、戦後日浅きころ、自ら講師を招いて週一回の英語塾をひらかれました。これには家族も熱心に学ばれました。私は、そのときに始めて伊藤先生と直接お逢いする機会をえて、いろいろ先生の理知、情味ある人間味、豊富な話題に魅力を感じました。

伊藤さんは、町の発展のためにも、日本の再建のためにも、なくてはならない重要なポストとしてその人材を高く評価されたわけに広く学識をそなえ、すぐれた人格者として徳をつんだ人です。

あるときは和服に威儀を正して塾に通う姿もあり、その勤勉ぶりは、やはり欧米仕込みの紳士といった感じでした。ともあれ、伊藤博士をして、名実共にあらしめたのは、ご本人の才能はもとより父君鬼一郎先生の厳格な家庭教育によるところもあつたと思います。

昭和二十八年早春のある日曜日

が関係者の努力でひろがっています。これからの会の発展がおおいに楽しみです。

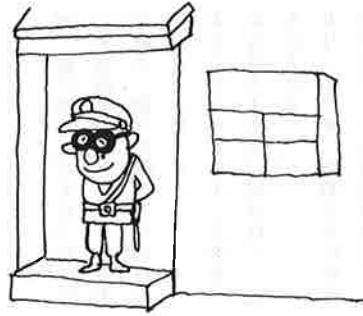
たまたま伊藤先生宅を訪れました先生は東京から週末休養のためお帰りのところでした。いろいろとお話をききながら、その庭先に眺めた数十本のしやくやくのうす赤い新芽の出そろいが美しく印象的でした。そのとき色紙に筆をとられて「古の唐の聖者の教訓をいまも正しきを不思議と思う。」庸二典型的な教育者として生涯を初等教育にささげた伊藤鬼一郎校長先生の徳化は実におおきかつたことでしょう。したがって家庭における伊藤さんは祖先をつねになつとび、よき家風の樹立と円満な家庭づくりくに専念されていることがうかがわれました。

昭和十六年の秋も、ふけたある夜、郷里御宿町の国民学校講堂において伊藤博士の帰国あいさつを兼ねた講演がありました。内容は当時の欧米事情でした。商船、軍艦、航空機に乗られて何回となく大太平洋、大西洋を横断して渡欧された伊藤先生は欧米事情についてきわめて率直、かつ具体的に町民に報告されたのでした。



伊藤博士が生まれた家

# 警察官募集中



ただいま、千葉県では、男子警察官二百四十名および婦人警察官五十名を募集中です。

応募資格は、男子警察官、婦人警察官いずれも昭和十九年八月二日から、昭和二十九年八月一日までに生れた者で、身体強健であれば、どなたでも受験できます。学歴は別に問いませんが、高等学校卒業程度の学力を必要とします。くわしいことは大原警察署または、もよりの派出所、駐在所におたづねください。

## ミセス月の砂漠誕生



初代「ミス月の砂漠」三羽鳥の人、石躍香代子さんが、三月二

十八日、千葉グランドホテルで、めでたく華燭の典を上げられた。

「御宿海岸に建った月の砂漠の記念像の除幕式の時、空高く舞いあがった五色の風船が、もしもいま、あのままどこかの空を飛んでいたらこの式典を見おろして、どんなに胸とまずませて喜んでいることでしょう。

おふたりが、月の砂漠の王子様とお姫様のように仲睦じく、新しい人生の遙な旅路に鹿島立たれることを心から喜び心から祈つてやまないものであります。——これが祝宴に列席された加藤まさを先生の賀詞であった。

### ●働く人

早起きの徳さん  
幸せはごぶメッセンジャー  
鈴木徳治さん(新町)



「早起きの徳さん」として親しまれる鈴木徳治さん(新町)が、ユ一モアクラブより精勤賞をうけられた。  
六十六歳で午前二時には起き、

## 税の月別 キャンペーン

税金に対する正しい理解と使われ方などを納税者に知っていただく目的で税務署では月別キャンペーン

ンを行なっております。

◇ 七月：：所得税第一期分納税は七月三十日まで

◇ 税金はみんなのために使われる。四十七年度予算のあらまし税金の果す役割。

◇ 八月：：マイホームと税金マイホーム建設にかかる各種税金共がせぎの場合の贈与税。災害をうけた時は税の減免手続きを、など毎月みなさまに関係の深い税のお話をキャンペーンとしてお知らせします。

愛用の自転車のペダルをけつて、四キロ、五キロの道のりを走る。新聞、牛乳の配達時間は、正確無比である。

鈴木さんの「おはよう」のあいさつと笑顔はいつも一つだ。この人は、人の家に楽しみと幸福を運ぶメッセンジャーのようだ。

五分刻りの頭。ペダルを踏みつづけた足はじょうぶでごつい。朝の食卓に欠せない、牛乳、新聞を待つ人の気持になって確実に届けてくれる。ありがたい人だ。

みんなの

ひろば



# 子供去る

羽二重の様な肌の子だったつけ  
二十有余年片親と、潮さいを小  
守歌に 様々な障害 雨の日も  
風の日ものりこえ  
大きく育った末息子、今家去る  
今日のよき日に結ばれて、他  
人に上げる  
五月(さつき)の柔らかい日を  
浴びつつ 二人は結ばれた  
思いきり大空にはばたけ  
ジャンボに乗ってはばたけ 働  
け親を振り向くな 親は親で生

# 善意

●交通遺児の救済に役立ててほし  
いと、一万七千八百円を立正俊成  
会小湊教団より町へ寄附がありま  
したのでお知らせいたします。  
なお、現在当町には八名の交通  
遺児がおります。

# 渡辺みち

きよう 後ろ振り向かず二人で  
生きよう 前進せよ二人で強く  
生きようほそいお月様朧月上か  
ら強く見守る 然し末ッ子迄家  
を去った  
後は淋しい 喜びと楽しみと悲  
しみ、一度に込み上げる汁 目  
泣き／＼別れる 潮さいのふる  
さと忘れるな  
惜しめない拍子を送る  
あ… 幸せにく

●為田病院より、岩和田児童館の  
図書室に、小学生文庫の世界名  
作文学全集五十巻が寄贈されまし  
た。

### 感謝状

為田茂男氏  
峰島平八氏  
藤井徳治氏  
伊藤ユリ子氏  
昭和四十六年度国民たすけあい共  
同募金運動に協力され、社会福祉  
事業発展につくされた、以上の方  
に千葉県共同募金会会長(柴田等)  
より感謝状がおくられました。

なお、藤井徳治氏は、NHKの  
ど自慢大会に出場され熱演賞(二  
回目)としての金一封を福祉事業  
に寄附されたものです。

### 渡辺とめ氏

第二十一回NHK歳末たすけあい  
に協力され、日本放送協会千葉放  
送局長より、感謝状がおくられま  
した。



### おめでた

二月 男8 女3 計11  
区 出生児 性別保護者  
須賀 井上義博 男 正雄

### おくやみ

二月	男2	女3	計5
区	死亡者	年令	死亡日
須賀	森 秀雄	61	2月7日
久保	白鳥たけ	85	2月6日
六軒町	神定はつ	81	2月3日
岩和田	山口はつ	84	2月9日
実谷	吉野初之助	85	2月23日
三月	男6	女6	計12
須賀	伊藤いわ	71	3月15日
浜	岡田ゑる	74	3月6日
浜	伊藤廣吉	60	3月20日
久保	市原春司	56	3月23日
新町	宮崎いち	78	3月21日

### 人口 (5月末現在)

男	3,869人
女	4,535人
計	8,404人
世帯数	2,156戸

マイ・ベビー

吉野正代ちゃん (6ヶ月)

生まれたときは二キロ六百。いまでは標準を上廻るりっぱな体格。すくすくと成長しています。名付け役はおばあさん。

父 吉野 正  
母 育代

六軒町	江澤國雄	35	2月25日
岩和田	関谷用藏	77	3月12日
倉満とめ	倉満とめ	74	3月12日
田中是真	田中是真	72	3月13日
幸内すゑ	幸内すゑ	80	3月24日
市原己之助	市原己之助	67	3月31日
吉田てる	吉田てる	72	3月9日